

## MR検査を受けられる患者さんへ – MR検査説明書 –

### ◆MR検査とは

- ・X線撮影やCTとは違い、X線を使わずに強い磁石と電波で体内の状態を断層像として描写する検査です。
- ・被ばくの心配が無く、また痛みも伴いません。
- ・検査中はガーガー、トントントンなど工事現場のような大きな音がします。
- ・検査時間は検査部位や内容によりますが、30分～60分程度かかります。

### ◆検査に対する注意点

- ・予約時間の30分前までに来院してください。来院時間に遅れますと検査開始時間が遅れる場合や、検査が受けられない可能性があります。
- ・マスカラやアイシャドウ等の化粧品の中には、金属製顔料を含んでいるものがあります。検査当日の化粧品は控えてください。また、一時染毛料（増毛パウダー、ヘアカースプレー等）も使用しないで下さい。
- ・カラーコンタクトレンズを使用されている方は外して検査しますので、保存液・容器等をご持参ください。
- ・ヒートテック等の保温肌着や遠赤外線肌着は、発熱や火傷の可能性があるため脱いでいただきます。
- ・極度の閉所恐怖症や体動のある方、小さなお子様の検査では睡眠剤等で眠っていただく場合があります。
- ・持続血糖測定器（リブレ等）を貼っている場合は主治医に確認し、検査時は外していただきます。

### ◆検査前のお食事・お薬について

- ・お薬の内服は検査に支障はありませんので、通常どおり内服可能です。  
ただし一部のお薬は検査前の絶飲食に際して中止が必要となることがありますので、絶飲食が必要な検査を受けられる場合は内服について主治医にご相談ください。
- ・絶飲食が必要な検査

- M R C P の検査…12時間前より絶飲食をお願いします。
- 腹部・骨盤の検査…午前の検査は朝食を、午後の検査は昼食をとらないでください。（水は可）  
骨盤の検査の方は検査直前の排尿を控えてください。
- 造影検査…午前の検査は朝食を、午後の検査は昼食をとらないでください。（水は可）

## □MR造影検査を受けられる患者さんへ

### ◆造影剤とは

- ・病気の状態を鮮明に映し出すためのお薬です。
- ・より正確な診断と最良の治療方針を立てるために、必要だと判断された場合に造影剤が用いられますが、まれに副作用が起きる可能性もあります。
- ・造影剤の成分は体の中で代謝され、最終的には尿や便と一緒に排泄されます。

### ◆造影検査に対する注意点

- ・気管支喘息、重篤な腎障害がある方、MR造影剤の副作用歴のある方は原則造影剤を使用できません。
- ・造影剤使用によってまれにかゆみ・吐き気・頭痛などが起きる可能性があります。また造影剤注入装置にて勢いよく造影剤を入れるときに、まれに血管外に漏れ痛みを伴う場合がありますが、いずれの場合もすぐにお知らせください。
- ・造影剤を使用した後は体外へ出しやすくするために、いつもより多く水分を取るようになしてください。水分の制限のある方は主治医の指示に従ってください。

### ◆造影剤の副作用について

- ・造影剤の副作用ではかゆみや吐き気その他、極めてまれに血圧低下やショックなどの重篤な症状が起きる可能性があります。常に細心の注意を払い何らかの副作用が出現した場合には、迅速に適切な処置を行います。
- ・また副作用は検査後数日経って出現する場合がありますので、十分に注意していただき、何か異常を感じましたらご連絡いただくようお願いいたします。